

まほろば

H25.10月号

Autumn

ご自由に
お持ち帰りください

シリーズ
1

医師 × 意思

シリーズ
2

お仕事紹介 薬剤科

○ 病院探検隊 2013

11月14日は世界糖尿病デー

2009年、姫路城が糖尿病の
シンボルカラーであるブルーに
ライトアップされました。



写真提供：吉田文紀様



医療法人 松藤会

入江病院



医師×意思

内科・腎臓内科 高木 純子 医師

神戸大学医学部卒業
内科学会認定医 / 消化器病学会専門医
透析療法学会専門医

腎臓病について

ひと昔前までは、腎臓病といえば「不治の病」と恐れられていた程の疾患ですが、現在では治療技術や医療機器の発展で早期に治療を開始すれば腎機能の低下を防いだり、進行を遅らせることができるようになりました。しかし、腎不全に進行すれば血液透析や腹膜透析、腎移植が必要となります。そうならない為には定期的な健康診断や糖尿病を予防するために生活習慣を整えることが大切です。



透析室

最新の医療機器を備え、多くの専門職を配置しています。また、長時間に及ぶ透析を快適に過ごして頂くための工夫も凝らされています。

生活の質を保つことが大切

適切な治療はもちろんのこと、いかに QOL（生活の質）を保てるかをサポートしていきたいと思っております。透析を受けながらもスポーツや旅行などアクティブに活動されておられる方もたくさんいらっしゃいます。「透析治療を始めてしまうと何もできない…」とお思いの方が非常に多いようですので、ご本人の意欲を高めてあげながら、出来る限り閉じこもりにならないようにサポートしていけたらと考えています。

QOL…クオリティ・オブ・ライフ。病気や障害を持ちながらも
どれだけその人らしい生活を送る事ができるかという概念。

早期発見が重要です

腎臓病にしても糖尿病にしても、早期の発見が何より大切です。定期健診をしっかりと受け、もし異常が見つければすぐに受診して下さい。早め早めの行動が透析治療を防ぐことになり、QOLを保ったその人らしい生活に繋がります。ご相談がありましたら、是非当院へご連絡下さい。

第5回 お仕事紹介シリーズ

薬剤科

薬品管理から服薬指導まで、「人とくすり」をトータルにサポート。



あらゆる治療の過程で、“くすり”は多種多様で重要なかわりを持っていますが、そのすべてにかかわっているのが薬剤科です。

「薬品のあるところ、すべて薬剤科あり」の自負のもと、患者様に安心してくすりによる治療を受けていただくため、薬剤師はさまざまな活動しています。薬品管理はもちろんのこと、院内各所の配置薬管理、感染予防対策への関わり、薬品情報提供、持参薬の確認・分包、入院調剤の完全一包化、市販されていない薬品の自家製剤調整、薬物血中濃度測定による至適投与量の医師への提案など、書ききれないほど細かい作業を日々おこなっています。

患者様のお目に触れたり、お薬についてご説明する以外の仕事もすべて、患者様に適切なおくすりの治療を受けて頂くためのものです。その内容をさらに充実させ、日々進歩する医学に遅れをとらないよう、私たち薬剤師は、様々な勉強会に参加し、自己研鑽に励んでおります。くすりのことなら、どんなことでもお気軽にご相談ください。

もったいないプロジェクト主催

糖尿病講演会

糖尿病の薬をもらうだけではもったいない
～何も知らずに薬を飲んでいませんか？～



11月16日(土)

時間 午前10:00～11:00

場所 入江病院4階 食堂

対象者 糖尿病に興味・関心のある方はどなたでもご参加頂けます

内容 講演会 入江病院 清水 匡 (糖尿病学会専門医)
内服薬およびインスリン注射薬の効果と副作用について

参加無料
事前申込不要

お問い合わせ先 TEL 079-239-3121 (代)
入江病院 もったいないプロジェクト 松木まで

薬物治療には内服治療とインスリン治療があり、さらにその中でも多くの種類があります。しかし、それぞれの身体の中では違った働き方をするために患者様の状態に合わせた薬の使い方をしなければ十分な効果を発揮できないどころか、副作用さえ起こしかねません。そこで、今回は糖尿病の薬に関するテーマで講演会を実施致します。

是非、この機会にご自身がどのような薬を処方されているのかをお確かめ下さい。

現在治療中の患者様は当日、薬の内容がわかるものをご持参頂ければ個別にアドバイスをさせていただきます。

はじめました。
2013年9月開設
糖尿病フットケア外来



日時 毎週火曜日 14:00～16:00

場所 外来診察室

担当者 日本糖尿病療養指導士

予約制の保険診療となりますので、ご希望の方は糖尿病外来スタッフまでご相談下さい。

世界糖尿病デー

「世界糖尿病デー」(毎年11月14日)は糖尿病が世界で健康を脅かす脅威になっていることを受け、1991年より国際糖尿病連合と世界保健機関によって開始され、2007年には国連にも公式に制定されました。シンボルマークは「ブルーサークル」。円は生命と健康の象徴を、ブルーは空の色と国連の畑の色をモチーフにしており、「糖尿病の脅威に対し世界の糖尿病を持つ人たちが文化の違いを超えて力を合わせよう」という願いが込められています。


world diabetes day
14 November

11月14日には、世界各地で糖尿病デーに関するイベントが開催されています。ここ姫路市でも、2009年に姫路城がブルーにライトアップされました。



病院探検隊 2013



今年で3年目となる病院探検隊が8月22日(木)に行われました。今年も英賀保小学校より13名の児童に参加して頂き、当院職員の子ども6名を含めた19名で実施されました。

院内探検、体験活動、院内体験のプログラムを終始真剣に、笑顔で探検しました。探検隊の子どもたちは各部署で出されるクイズや体験をクリアし、5枚のシールを獲得。閉講式で受け取った修了証にシールを貼り合わせて、病院探検隊を終えました。

入江病院では、子どもたちに医療や福祉の分野に興味を持ってもらい、この地域の皆様の健康増進に繋がるよう取り組みを行っています。

院内探検では病院内の様々な部署を見学しました。子どもたちは普段目にする機会がない手術室や検査室に興味津々。また、入院しておられる患者様とあいさつを交わしたり、廊下で通り道を譲ったりと優しい心配りがとても印象的でした。



医療器具体験では、看護師より聴診器やシリンジの使用方法を学び、福祉用具体験は車いすと松葉杖の操作方法を学びました。さすがは小学生。物覚えがとても早く、それぞれ20分の体験時間でしたが、見事に使いこなしていました。

編集後記

秋祭りシーズンも終盤です。この広報誌が配布されている頃には英賀神社の秋祭りも終わられ、各町後片付けに奔走しておられる頃ではないでしょうか。祭りを終えると冬はすぐそこに迫っています。(播州ならではの感覚ですね) 風邪などひかれないよう、予防に努めて下さい。



〒672-8092 姫路市飾磨区英賀春日町 2-25

TEL : (079) 239-3121 (代)

FAX : (079) 239-8975

ホームページ <http://www.irie.or.jp>

● 広報誌に関するご意見はこちらまでお寄せ下さい ●

電話 079-238-5855 FAX 079-238-5856

E-MAIL ohnishi@irie.or.jp (携帯電話からも可)

外来診療日程表

診療時間	診療科目	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00~12:00 (受付時間) 8:00~11:45	糖尿病内科	○	○	○	○	○	△
	総合診療科	△	予約	○	△	△	△
	内科	○	○	○	○	○	○
	胃腸科・消化器外科	○	予約	△	予約	○	予約
	外科・総合診療科	○	△	○	△	△	○
	整形外科	○	○	予約	○	○	○
	脳神経外科	○	○	○	○	○	○
午後診 17:00~19:00 (受付時間) 16:00~18:45	泌尿器科	△	△	○	△	△	○
	総合診療科	○	△	△	△	△	△
	内科	△	○	○	○	○	△
	外科・総合診療科	△	○	△	○	△	△
	整形外科	△	△	予約	予約	○	△
脳神経外科	○	△	○	○	○	△	

ご注意：糖尿病内科はすべて予約制です。